



HP



中島観司会長(左)と鹿田昌史社長

水はけと水持ちに優れた独自の「トース土」 雨水の流出を抑制し水害の減災に期待

水はけ(透水性)と水持ち(保水性)に優れた独自の土壌「トース土(ど)」を開発した(株)シーマコンサルタントは、道路、河川などの設計を手がける建設コンサルタント。設計で携わった学校の校庭で、提案した工法の水はけが良くなかったのをきっかけに、中島観司会長(当時社長)が1997年から研究を開始。試験施工を50回ほど重ねた結果、2000年に完成させ、特許も取得した。

トース土は、土や碎石に添加物を配合することで、細粒分を単粒構造から団粒構造に変化させ、水はけと水持ちを向上させた。降った雨を側溝などに直接放流することなく、地中に浸透させることができる。校庭を例にすると、1時間あたり47mmの降雨があった場合でも表面に水がたまらない。また、保水している雨水が蒸発するときの気化熱により地表面の温度上昇を抑制させる効果も期待できる。

これまでに全国で約780件の導入事例があり、校庭のほか公園の広場、公園や神社の園路、人工芝の下部などにも使われている。最近福岡大学の人工芝のサッカー場にも導入され、前述の気化熱の作用で「涼しい」と評判だ。

近年、九州は毎年のように豪雨被害に見舞われている。自身も被災した中島会長は「今後はトース土を減災に活用させていきたい」と意気込む。例えば、各家庭に向けてトース土を活用して雨水を一時的にためる「雨庭」を提案し、豪雨時の雨水流出の抑制につなげたい考えだ。

土木分野に限らず、農業分野への活用にも期待が広がる。現在、トース土の保水性を生かし、腐葉土と混ぜた土でバナナの栽培も研究中だ。早い生育が見込まれるという。

広川町商工会は2024年、専門家を通して同社のホームページ更新の支援を実施。今後もトース土の知名度向上を図るべくサポートしていく。



1 トース土が使われている筑後広域公園多目的広場 2 トース土(左)と一般的な土(右)の水はけの違い。トース土はケース下部に水が流れている一方、一般的な土では表面に水がたまっている 3 トース土を使ったバナナの栽培研究

株式会社シーマコンサルタント
代表取締役会長 中島 観司
代表取締役社長 鹿田 昌史

事業内容 設計、補償、測量ほか
創業 1988(昭和63)年11月
スタッフ 35名(パート含む)
住所 本社/久留米市高良内町2698-30
技術センター/八女郡広川町大字水原1434-5
TEL 0943-32-5505



広川町商工会/経営指導員 田中 美穂

2024年に鹿田社長が補助金の情報収集のために広川町商工会を訪ねられたのをきっかけに、個別相談や専門家派遣を通じた支援を行っています。トース土のように広く社会貢献が可能な製品を持つ企業が地元にあることは誇りです。今後、トース土の認知度が高まるように引き続きサポートしていきます。今回、商工会ニュースにご登場いただいたのもその一環です。このほか、商工会事務所内にもトース土の水はけの良さが分かる模型を展示しています。

後継者がいない

承継方法がわからない

事業を引き継いで起業したい

あらゆる事業承継について、お気軽にご相談ください。

事業承継に悩むすべての中小企業を
全力でサポートします!

M&A マッチングのサポート

後継者人材バンクの活用

事業承継計画の策定支援

専門家による的確なアドバイス

お早めの相談が解決の早道です!

福岡県事業承継・引継ぎ支援センター

福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号
福岡商工会議所ビル8階

TEL: 092-441-6922
https://fukuoka-hikitsugi.go.jp

相談無料: 月曜日~金曜日(祝日除く) 9:00~17:00